

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 9 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	開設間もなく、しっかりと地域住民との交流が図れていない。地域密着型という位置づけにある施設であるが、地域に根ざした活動などの取り組みができていない	入所者様自身も地域とのつながりを感じていただき、生きがいにつなげたい。近隣住民にはまず施設について知っていただく	地域運営会議や施設周辺にお住まいのご家族の面会時などに、地域の行事などについて聞き取りを行う。参加可能なものは勤務調整の上参加できるよう調整する。施設でのイベント活動を行い、近隣住民の参加を呼び込む	6ヶ月
2	35	開設時以降避難訓練が実施されておらず、避難経路の確認や災害時の職員の動きの確認作業を行う必要がある。避難時の想定として、実際に入所者様全員を協力施設まで誘導を行うことができるか実践していない。	いつ災害が起こっても冷静に対応できるよう、非常災害時の対応については日頃から職員間でも共有をする。全職員が個人の動きを把握しておく。	近日協力施設の介護老人福祉施設と共に消防署立ち合いのもと、避難訓練を実施することが決まっている。その他、施設内でも細かく非常災害時の職員間の同線や個々人の動きの把握、物品の把握と管理について研修を行う。なお、実際に入所者全員をいち早く協力施設まで避難ができるよう実践を行い、どのぐらいの人数の応援が必要か現実的に想定。地域住民との繋がり構築がなされたのちには、避難訓練に参加いただき、協力をお願いできる体制を整えたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。